

No.01

部課室	建設部維持課	事業名	道路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
219,653 千円	208,721 千円	△10,932 千円	208,721 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内道路面積 : 12,482,032㎡	対象1㎡あたり	16 円	
査定結果の理由等	職員の人員減に伴う残土等処理業務委託料の増加分について、積算基礎を精査して要求額を一部減額した。				

No.02

部課室	建設部維持課	事業名	道路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
610,649 千円	617,019 千円	+6,370 千円	617,019 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R4.10.1現在人口 : 380,634人	対象1人あたり	1,621 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、担当課からの申出を受け、施設修繕料を見直して一部増額した。				

No.03

部課室	建設部維持課	事業名	橋梁保全事業	事業区分	投資的事业
事業概要	老朽化が進む橋梁の長寿命化を図るために、点検及び補修を計画的に行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
280,400 千円	111,400 千円	△169,000 千円	111,400 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内橋梁数 : 906橋	対象1橋あたり	122,958 円	
査定結果の理由等	【令和4年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和4年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。				

No.04

部課室	建設部維持課	事業名	横断歩道橋保全事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市が管理する横断歩道橋の長寿命化を図るため、定期的な点検と修繕を実施する。				
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
7,000 千円	7,000 千円	0 千円	7,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内横断歩道橋数 : 9橋	対象1橋あたり	777,777 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.05

部課室	建設部維持課	事業名	水路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び道水路施設を良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
169,578 千円	167,499 千円	△2,079 千円	167,499 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R4.10.1現在人口 : 380,634人	対象1人あたり	440 円	
査定結果の理由等	職員の人員減に伴う残土等処理業務委託料の増加分について、積算基礎を精査して要求額を一部減額した。				

No.06

部課室	建設部維持課	事業名	水路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び水路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
195,618 千円	197,240 千円	+1,622 千円	197,240 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R4.10.1現在人口 : 380,634人	対象1人あたり	518 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、担当課からの申出を受け、施設修繕料を見直して一部増額した。				

No.07

部課室	建設部維持課	事業名	排水機場等施設整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	浸水被害を防ぐため市内各所に設置された排水機場等において、施設の老朽化によるポンプ停止等の重大事故の発生を未然に防止するために施設の整備補修を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			3		11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
26,610 千円	26,610 千円	0 千円	26,610 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	浅井町東浅井ほか受益地区 : 1,370ha		対象1haあたり	19,423 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

部課室	建設部道路管理課	事業名	占用管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路上の電柱や電気・電話・ガス・上下水道の管路等の一定の施設の設置にあたっては、道路管理者として占用許可を出している。占用管理システムを通じて、これらの占用許可の情報を整理し、円滑な占用業務を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
990 千円	990 千円	0 千円	990 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	占用許可・承認工事件数 : 6,108件		対象1件あたり	162 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

部課室	建設部道路管理課	事業名	道路管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	窓口業務において、市が管理している道路幅員等の照会に対して、道路に関する複数の情報を管理するシステムを使用し、迅速かつ円滑な業務処理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,122 千円	1,122 千円	0 千円	1,122 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路管理情報利用者数 : 13,598人		対象1人あたり	82 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.10

部課室	建設部道水路管理課	事業名	道路台帳補正事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路整備工事等により道路形状は変化している。毎年その状況を調査し、道路台帳図及び調書等を修正して道路の適正な管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
29,988 千円	29,988 千円	0 千円	29,988 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路台帳年間照会者数 : 12,250人	対象1人あたり	2,448 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

部課室	建設部道水路管理課	事業名	狭あい道路対策事業	事業区分	新規事業
事業概要	狭あい道路とは、一般の交通の用に供される幅員4m未満の道路を指し、交通、安全、衛生上支障があるばかりでなく、地震や火災などの災害時には消防、救急活動にも影響を及ぼす。それらの道路について市が助成することで、狭あい道路の解消を促進し、生活道路としての機能を確保するとともに緊急車両の通行や消防活動など防災機能の確保をし、住環境の向上を図る。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
771 千円	771 千円	0 千円	771 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	防火・準防火地区がある連区 : 131,996人	対象1人あたり	5.84 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.12

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市民の日常生活に密着した道路 (生活道路) について、道路構造物 (側溝等) の保全及び更新を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11
				13	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
675,127 千円	655,327 千円	△19,800 千円	655,327 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 200件	対象1件あたり	3,276,635 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて要求額の一部については一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、時限的な財源措置がある (交付税措置率が高い緊急自然災害防止対策事業債の対象である) ことも考慮して、要求額を一部減額して計上した。				

No.13

部課室	建設部道路課	事業名	幹線舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本事業は幹線道路延長282kmのうち主に1級幹線163kmの舗装を対象に、損傷程度を踏まえ計画的に保全及び改良を行う事業である。 令和5年度は調査及び工事を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
458,500 千円	341,000 千円	△117,500 千円	341,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	幹線道路の面積 : 1,820,804㎡	対象1㎡あたり	187 円		
査定結果の理由等	【令和4年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和4年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.14

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市民の日常生活に密着した道路 (生活道路) について、道路舗装の保全及び更新を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
399,844 千円	399,844 千円	0 千円	399,844 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 100件	対象1件あたり	3,998,440 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.15

部課室	建設部道路課	事業名	緊急輸送道路無電柱化事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市道0138号線は、市役所本庁舎 (防災拠点) と市民病院 (災害拠点病院) を結ぶ第3次緊急輸送道路に指定されており、災害直後から避難、救助活動、救援物資の輸送のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である。 災害時の緊急輸送道路の機能を確保するため、市道0138号線の無電柱化を推進する。 令和5年度は、本工事及び支障移設を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
231,700 千円	208,000 千円	△23,700 千円	208,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	1日の自動車交通量 (R3交通量調査) : 7,065台	対象1台あたり	29,440 円		
査定結果の理由等	【令和4年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和4年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.16

部課室	建設部道路課	事業名	木曾川古知野線道路改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本路線は、一宮市内の国道22号を経て江南市へ至る県道で、尾張北西部地域の東西軸を構成する幹線道路である。地域の発展と住民の利便性に寄与する重要な路線である。 令和5年度は、用地取得及び物件移転補償を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
93,500 千円	93,500 千円	0 千円	93,500 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	西成連区R4. 10. 1現在人口 : 34,365人	対象1人あたり	2,720 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.17

部課室	建設部治水課	事業名	基盤整備促進事業 (北方地区)	事業区分	投資的事業	
事業概要	北方地区の水田33haの農業用水の安定供給を図るため、地区内の支線管水路を整備し、地区内水路の用排分離を行う。令和5年度は、管水路工 (φ75~φ350) L=999m等を整備する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
73,760 千円	73,760 千円	0 千円	73,760 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	用排分離を行う水田 : 33ha	対象1haあたり	2,235,151 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.18

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業 (大赤見地区)	事業区分	投資的事業	
事業概要	大赤見地内を中心に流れる大赤見用水の流域にある21haの農地などを大雨の被害から守るため、水路の改修整備を実施する。令和5年度は、引き続きU型水路、ボックスカルバート工等をL=92m施工する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
53,050 千円	53,050 千円	0 千円	53,050 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	大雨の被害軽減を図る区域 : 21ha	対象1haあたり	2,526,190 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.19

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業（明地地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	明地地内において、農地などを大雨の被害から守るため、排水路の整備を実施する。令和5年度は、排水路の改修工事をL=110m施工する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
82,050 千円	82,050 千円	0 千円	82,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：28ha		対象1haあたり	2,930,357 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新岩倉用水地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	木津用水土地改良区が管理する岩倉用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和5年度は、一宮市及び大口町において用水管L=670mの更新を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13 15
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
11,289 千円	11,289 千円	0 千円	11,289 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：198ha		対象1haあたり	57,015 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.21

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新光堂川地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	宮田用水土地改良区が管理する光堂川用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和3年度から工事着手。令和5年度はL=1,030mを施工する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
26,262 千円	26,262 千円	0 千円	26,262 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：163ha		対象1haあたり	161,116 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.22

部課室	建設部治水課	事業名	県営たん水防除事業（新大江地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	大江排水機場は、築造後約30年経過し老朽化が著しい。また、経年劣化による能力低下なども見受けられ早急な対策が必要である。このため、当流域のたん水被害対策として、排水機場を建て替えることにより、農業の安定化を図る。令和5年度は機械類工（ポンプ設備、除塵機設備工）、及び機場工（機場下部工、機場工）を施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
1,547千円	1,547千円	0千円	1,547千円	0千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：180ha		対象1haあたり	8,594円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.23

部課室	建設部治水課	事業名	県営緊急農地防災事業（千間堀下流地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	千間堀川流域では、浸水被害が慢性的に発生している地域であるため、河川改修を行い、流下能力を向上させ、被害の軽減を図る。令和5年度は【一宮市管理区間】排水路L=60mを施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
11,900千円	11,900千円	0千円	11,900千円	0千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：210ha		対象1haあたり	56,666円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.24

部課室	建設部治水課	事業名	県営水環境整備事業（大江川4期地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	大江川両岸の上部を利用し、自然や景観に配慮した遊歩道や休憩する施設を整備する。令和5年度の事業内容は、遊歩道整備をL=300m行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
10,750千円	10,750千円	0千円	10,750千円	0千円	
KPI	受益者など（見込）	浅井・葉栗連区R4.10.1現在人口：35,689人		対象1あたり	301円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.25

部課室	建設部治水課	事業名	県営用排水施設整備事業（萩原東部地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	突発的・局地的豪雨時の流域被害軽減のため、光堂川から準用河川新堀川へのバイパス水路を整備する。令和5年度は、実施設計業務を行う。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
1,050 千円	1,050 千円	0 千円	1,050 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の軽減を図る区域：527ha		対象1haあたり	1,992 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.26

部課室	建設部治水課	事業名	農業農村多面的機能支払事業補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	多面的機能支払交付金には、農地維持支払と資源向上支払があり、農地が持つ多面的な機能の維持のため地域の活動や営農する活動に対して補助をする。 （1）農地維持支払…道路水路の草刈りや水路の泥上げ、営農活動に必要な体制を強化するための活動 （2）資源向上支払…道路水路の軽微な補修や植栽による景観形成などの活動				
SDGs（持続可能な開発目標）	2			11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
13,891 千円	13,891 千円	0 千円	13,891 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	農用地：379ha		対象1haあたり	36,651 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.27

部課室	建設部治水課	事業名	濃尾用水地区用排水対策協議会負担事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	主に、平成24年度より用排水分離後の排水路（旧用水路）の維持管理に係る費用の一部、及び令和2年度より国営造成水利施設の管理体制に対する整備・強化の促進に係る費用の一部について応分の負担をするもの。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
22,002 千円	22,002 千円	0 千円	22,002 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	排水流域面積：2,171ha		対象1haあたり	10,134 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.28

部課室	建設部治水課	事業名	木津用水水管理対策協議会負担金事業	事業区分	投資的事業
事業概要	水管理実態を総合的に調査し都市化に対応した計画を樹立しその具体化を図る目的で関係市町が組織する協議会であり、令和2年度より基幹的農業用水利施設（国営造成施設）を管理する木津用水土地改良区の管理体制の整備・強化を図るため施設管理費の一部を負担する「国営造成施設管理体制整備促進事業」を実施している。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
133 千円	133 千円	0 千円	133 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	対象となる田んぼの面積（一宮市）：126ha		対象1haあたり	1,055 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.29

部課室	建設部治水課	事業名	単独土地改良事業負担事業（木津用水土地改良区）	事業区分	投資的事業
事業概要	木津用水土地改良区が管理する岩倉用水は、施設の漏水や不具合が毎年のように発生している。農業用水の安定供給や漏水に伴う陥没事故を防止するため緊急修繕を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
158 千円	158 千円	0 千円	158 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	岩倉用水の田んぼへの取水向上を図る区域：199ha		対象1haあたり	793 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.30

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業（西成土地改良区）	事業区分	投資的事業
事業概要	西成土地改良区が管理する千間堀川の排水路及び用水路について、愛知県が事業主体となり整備する。西成土地改良区に対して、営農の安定化を図るため事業費の一部を補助する。令和5年度は用水管L=600mを施工する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
10,000 千円	10,000 千円	0 千円	10,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	西成土地改良区流域面積：508ha		対象1haあたり	19,685 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.31

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業（宮田用土地改良区等）	事業区分	投資的事業	
事業概要	宮田用土地改良区等が管理する一宮分水路のゲート、及び奥村幹線水路の分水工バルブを修繕するため事業費の一部を補助する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
3,300 千円	3,300 千円	0 千円	3,300 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：156ha		対象1haあたり	21,153 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.32

部課室	建設部治水課	事業名	かんがい排水事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の4地区における水路の用排水能力の向上させるため、水路改修工事等を実施する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
51,050 千円	51,050 千円	0 千円	51,050 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	水田への取水向上を図る区域：13ha		対象1haあたり	3,867,424 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.33

部課室	建設部治水課	事業名	農村総合整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の7地区における水路の用排水能力の向上かつ道路有効幅員を拡大するため、水路改修工事を実施する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
85,050 千円	85,050 千円	0 千円	85,050 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	対象地区人口：4,306人		対象1人あたり	19,751 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.34

部課室	建設部治水課	事業名	生活関連治水事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路の安定した機能を確保するため、用排水路及び付属構造物の整備を行う。また、道路冠水等の浸水被害の軽減を図るため、函渠の整備を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
624,990 千円	615,090 千円	△9,900 千円	615,090 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	工事件数 : 143件	対象1件あたり	4,301,328 円		
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて要求額の一部については一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、時限的な財源措置がある (交付税措置率が高い緊急自然災害防止対策事業債の対象である) ことも考慮して、要求額を一部減額して計上した。					

No.35

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良施設維持管理適正化事業 (防災減災機能等強化対策)	事業区分	投資的事業
事業概要	大和町妙興寺地内を流れる妙戸川の一部区間約800mは開渠水路であり、全6基の樋門のうち1基のみ電動化が完了し、2基が令和4年度に完了予定である。現在、操作員が手動により操作しており、水管理労力の軽減や流域の防災・減災を推進するため、樋門1基を電動化するもの。なお、当事業は市の負担割合が40%から25%に軽減されるR4年度創設の「防災減災機能等強化対策」を活用し実施するもの。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
19,567 千円	19,567 千円	0 千円	19,567 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	対象地区人口 : 6,004人	対象1人あたり	3,258 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.36

部課室	建設部治水課	事業名	雨水排水路整備事業	事業区分	投資的事業
事業概要	丹陽町外崎地内は、度重なる浸水被害を受けており河川改修や浸水対策への要望が強い地域である。当事業は、都市再生整備計画区域内で施行される土地区画整理事業区域外を計画区域とし、千間堀川へ排水できるように経路を見直し、適切な断面を決定し、排水施設を整備するもの。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
18,000 千円	18,000 千円	0 千円	18,000 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	雨水排水路整備事業区域内の人口 : 1,136人	対象1人あたり	15,845 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.37

部課室	建設部治水課	事業名	河川等情報関連事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の河川水位や雨量を情報発信するシステム「河川等水位情報」を安定的に運用する。また、木曽川上流河川事務所と一宮市が木曽川水系の情報を相互に利用できる「河川情報利用ネットワーク」を運用する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
21,140 千円	21,140 千円	0 千円	21,140 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	河川水位・雨量及び木曽川の状況観測箇所数 : 67か所	対象1か所あたり	315,522 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.38

部課室	建設部治水課	事業名	流域貯留施設築造事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	新川流域において河川への雨水流出を抑えるため、市内の公園を利用して一時的に雨水を貯留する施設を築造する。 令和5年度は、大平島公園及び多加木公園のグラウンド下に雨水貯留施設の築造工事及び森本中央公園における測量設計業務を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
500,200 千円	17,000 千円	△483,200 千円	17,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	丹陽町連区 及び富士連区 R4.10.1現在人口 : 38,041人	対象1人あたり	446 円		
査定結果の理由等	【令和4年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和4年度3月補正予算に組み替えて計上するため、減額した。					

No.39

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川千間堀川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川千間堀川の流域では、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い、被害の軽減を図る。全体の施工延長は727mで、平成24年度より工事を着手し、令和4年度に工事が終了する。これに伴い令和5年度は、建物事後調査7件を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
3,840 千円	3,840 千円	0 千円	3,840 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	丹陽町連区 R4.10.1現在人口 : 28,576人	対象1人あたり	134 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.40

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川川崎川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川川崎川の流域では、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い、被害の軽減を図る。全体の施工延長は830mで、平成24年度より工事を着手し、令和5年度から工法を変更し、引き続き工事(L=110m)を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
94,000千円	94,000千円	0千円	94,000千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	奥町連区 R4. 10. 1現在人口: 14,264人	対象1人あたり	6,590円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.41

部課室	建設部治水課	事業名	浸水対策施設設置補助事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	浸水対策施設を設置した場合に設置費用の一部を補助する事業で、雨水貯留浸透施設と防水板施設がある。雨水貯留浸透施設は、雨水を溜める貯留タンクや浄化槽転用貯留槽、雨水を地中へ浸透させる浸透ますや透水性の舗装があり、雨水の河川への流れ込みを一時的に抑制し、出水被害を軽減する効果がある。防水板施設は、宅地などの浸水のおそれがある出入口に設置し、大雨による浸水被害を軽減させる効果がある。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
2,668千円	2,668千円	0千円	2,668千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	申請件数: 28件	対象1件あたり	95,285円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.42

部課室	建設部治水課	事業名	雨水ポンプ場修繕改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	雨水ポンプ場は、地域の浸水被害軽減においての重要施設である。雨水ポンプ場の点検・調査、ポンプ井などのコンクリート建造物の耐震診断を実施し、機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、施設の適切な修繕・改築更新を実施するとともに、地震対策・耐水化対策を実施する。令和5年度は、小信ポンプ場の耐震診断を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
45,780千円	45,780千円	0千円	45,780千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	小信排水区R4. 10. 1現在人口: 14,262人	対象1人あたり	3,209円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					